

平成30年度 第1学年 前期授業アンケート 分析表

国語総合 (現代文)	多くの生徒が熱心に取り組んでいる。文章を正しく読み取り、理解したことや考えたことを自分の言葉で表現する活動を通して、人の在り方や世の中の事象について思考を深めている。今後もさらに深い思考や表現ができるように指導していきたい。
国語総合 (古典)	多くの生徒が予習や復習に励んでおり、読解力が高まりつつある。時代背景や当時の風習等についても学ぶことで、古典を学ぶ楽しさと意義を実感しつつある。さらに学習の質を高め、教養のある人間として成長できるように指導していきたい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組んでおり、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習を取り入れることで、学習に対する意欲が高まっている。学習した内容を実生活とリンクさせた形で制度や用語を理解できるような授業展開が引き続き必要である。
数学 I	多くの生徒が予習・授業・復習に熱心に取り組んでいる。授業進度も概ね適切である。理解度に不安を抱える生徒には、予習・復習の徹底を継続して指導したい。予習を前提とした授業をしながら、基礎から応用へ丁寧な指導を心掛けたい。また、グループ学習も取り入れたい。
数学 A	多くの生徒が予習・授業・復習に熱心に取り組んでいる。単位数は少ないが、授業進度も概ね適切であると考えられる。基礎に不安を抱える生徒には、予習復習の指導を継続する。予習を前提とした授業の中で基礎から応用へ丁寧な指導をしたい。グループ学習も取り入れたい。
物理基礎	授業の難易度について5割近くの生徒が難しいと答えているが、7割以上の生徒が物理基礎への関心が高まったと答えている。これは生徒が授業で物理を考察し主体的に学ぼうとしていることを示唆している。今後も思考と実験を絡めた「考える」授業を展開していきたい。
生物基礎	比較的多くの生徒が、授業を集中して取り組み理解を進めていると回答している。アンケート結果より、グループ活動の効果は高いことが分かるので、ペアやグループでの活動や実験を実施していくなど、より授業を工夫していきたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適正である。授業は週2回ではあるが、技能・体力の向上が見られる生徒が約半数いる。今後もグループ学習等を積極的に取り入れた充実した授業を実施していきたいと考える。
音楽 I	多くの生徒が授業に集中して取り組み、授業の難易度、進度共に適当であると回答している。前期はグループ学習による活動が少なかったが、後期は、積極的に取り組みたい。また、音楽に関する経験にばらつきがあるので、個々の能力を生かせるような授業を展開していきたい。
美術 I	多くの生徒が授業を集中して受けている。制作演習の時間が多いため個別に巡回など増やして個人対応も充実していきたい。グループ学習は制作中心の美術としては少々難しいのではないと思う。授業の工夫が必要である。
書道 I	前期の学習としては充実した学習が展開できた。アクティブ・ラーニングでの協同学習も適度に取り入れ、新しい教育内容を推進できた。教材開発にも取り組み、その結果生徒はより書道に関しての興味関心が高まっている。一層生徒にとって満足感が得られる授業を心がけたい。
コミュニケーション英語 I	9割以上の生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であるとの割合が高い。ペア・グループ活動への意欲が非常に高く、今後も協働学習の趣旨を伝えていき、発展的な授業を展開していきたい。予習・復習の重要性を認識し、継続していきたい。
英語表現 I	9割以上の生徒が授業に集中できている。授業への関心・意欲は非常に高く、概ね授業に満足している生徒が多い。ペア・グループ活動への意欲も非常に高く、協力して授業に取り組む姿が見られる。予習・復習を自身で計画的に行える自律学習者を目指したい。
家庭基礎	多くの生徒が真面目に授業に取り組んでおり、難易度・進度とも適当であると回答している。今後も生徒が問題意識を持ち興味・関心を深めながら課題解決に向けて取り組めるような授業内容を工夫していきたい。
社会と情報	多くの生徒が集中して取り組んでいる。引き続き興味関心が持てるような授業展開を心掛け、高い関心・意欲を持つ生徒たちをさらに伸ばしていける指導を行っていく。実習ではスキルにばらつきがあり、最初は戸惑う生徒もいたがITによる指導で充分に対応できておりスキルも向上している。

平成30年度 第2学年 前期授業アンケート 分析表

現代文B	授業への取り組み状況は概ね良好である。授業の難易度、進度、説明の仕方についての設問に対しても妥当だとする回答を多く得た。今後更に力をつけていくために、難易度を少し上げた文章も読むなど、生徒の状況をよく見ながら指導の内容やレベルを調整していきたい。
古典B	多くの項目でおおむね良好な結果が得られた。全般的に学習に対する取り組みは良好と言える。協同学習形態導入もその一因だと思われる。予習についても概ね習慣化しつつあるようだ。古典の世界をより楽しめるよう、授業の展開やしかけについて常に工夫していきたい。
世界史A	15世紀以降の世界の一体化を捉えさせようと考えており、授業進度及び授業内容が生徒にとって負担と感じられている部分がある。改善していきたい。グループ学習についてはおおむね好評であり、今後も積極的に取り入れていきたい。
世界史B	授業理解について生徒間に大きな差があることが分かった。今後は個々の生徒の状況に合わせて授業内容及び進度を改善していきたい。グループ学習についても年度後半で取り入れていきたい。生徒の興味関心が高まった点は大いに評価したい。
日本史A	板書をして教科書の内容を解説する形式を中心に進めてきたが、授業の内容・進度・難易度などに対し、概ね満足という結果であった。歴史そのものの魅力を伝えるだけでなく、思考・資料活用の技能・表現法などを高めると同時に、理解が深まるように気を配っていききたい。
日本史B	概ね良好な回答を得たが、約1割前後の生徒が授業理解等について不満があるようなので、今後は個々の生徒の状況に合わせて授業を改善していきたい。生徒の興味関心がさらに深まるよう気を配っていききたい。
地理A	授業の進度や難易度の面では概ね肯定的な評価であった。しかし、興味・関心を引き出す点で、まだ改善の余地がある。少人数での授業であるため、グループ学習をはじめ教材の工夫や学習法など、さらに工夫・改善していきたい。
地理B	授業のわかりやすさ・進度などは肯定的な意見多くみられた。授業内容についての理解がさらに深まるよう、今後もさらに生徒たちの知的好奇心に応えうる授業づくりに努めていきたいと思う。
倫理	「精神」・「理性」等、哲学特有の抽象的な言葉が多いが、生徒は、授業を通して自分の生き方なり方を意識しながら学習に取り組んでいることが伺える。引き続き、学習に対する意欲関心が高まるような授業展開に努めたい。
数学Ⅱ	授業の集中力、進度について肯定的な生徒が多い一方、予習・復習への取り組みがあいまいな生徒が多く、難しいと感じている生徒がいることも事実である。再度、家庭学習の重要性を共有して、「予習・復習」と「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
数学B	授業の集中力、進度について肯定的な生徒が多い一方、予習・復習への取り組みがあいまいな生徒が多く、難しいと感じている生徒がいることも事実である。再度、家庭学習の重要性を共有して、「予習・復習」と「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
物理	大部分の生徒が集中して授業に取り組んでいる。ただ、授業を「聞く」だけでは理解は深まらない。教員側の「考えさせる」授業づくりと、生徒自身が予習・復習の習慣を身につけて進んで「考える」ことが両輪となることで科目の内容理解が深まっていくと考える。
化学基礎	概ね良好な評価であった。授業の進度や教材は現状のものをベースとしてさらに充実させる方向で考えていきたい。苦手意識を持つ生徒が一定数あるようなので、グループ学習や演習などを適切に取り入れて授業への関心を高められるような工夫をしていきたい。
化学	多くの生徒が意欲的に学習に取り組んでおり、授業の進度や難易度は現状のまま問題ないとする。ただし、今後扱う内容が複雑になってくるので、適切な演習を取り入れる、家庭学習を充実させるなどして、学習内容の定着と自主的な学習への取り組みを促していきたい。
生物	多くの生徒が、授業に集中して取り組み、難易度が高い内容についても理解を進めていることがわかる。体系的な知識を構築するために、紙ベースだけでなく、実験で教科書の内容を補足・復習する等、より授業を工夫していきたい。
実践生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を待たせる授業を心掛けた。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、(あまり行っていない)現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
地学基礎	進度、難易度ともに多くの生徒が肯定的に回答している。今後もグループ学習や探究活動を進度に合わせて実施し、生徒の理解が進むようにしたい。また、地学は自然災害や防災など生活に直結した科目であるので、身近な話題も取り入れながら授業を進めていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	概ね、授業に満足している生徒が多い。継続して、グループワークやペアワークを取り入れながら、お互いに理解度を高められるような授業展開に努めていきたい。
英語表現Ⅱ	概ね、授業に満足している生徒が多い。継続して、グループワークやペアワークを取り入れながら、お互いの表現活動を通して、幅広い表現を身につけることができるように授業展開に努めていきたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適正である。授業は週2回ではあるが、技能・体力の向上が見られる生徒が約半数いる。選択制授業の充実を図り、3年生の男女共修選択制授業へのよい準備期間となるよう働きかけていきたい。

平成30年度 第3学年 前期授業アンケート 分析表

現代文B	テキストを読解することで満足せず、現代社会を取り巻く諸問題と関連づけて、より深く自らを見つめる機会を増やしたい。またグループやクラスで意見を交流する中で、新しい気づきや自分の考えの深まりを感じることができる授業の展開を工夫したい。
古典B	授業の進度や難易度は上がっているが、全般的によく努力している。授業の中で理解したことを自分のものとし、さらに深い理解につなげていくための主体的な学習へと向かわせていきたい。今後も学習目標を明確にして理解や感動を深め、古典の世界を味わえる授業を目指したい。
世界史B	授業の難易度・わかりやすさについて肯定的な回答が多く、世界史に対する興味関心を高めており、概ね良好な回答を得た。一方、授業内容と進度のバランスを考え、さらなる改善が必要である。今後も生徒の興味関心を喚起する授業となるよう、教材研究や授業方法を工夫していきたい。
日本史B	概ね良好な回答を得た。なるべく現状維持を旨としていきたい。ただ、スケジュール等を考慮に入れると、今後は速度を上げていかなければならない現実が必至の状況である。生徒の「理解できた感」や「興味・関心の惹起」が損なわれないよう、最大限気を配っていきたい。
地理B	全体的に肯定的な回答が多かった。世界の諸地域に関する地誌的考察を中心に学習を進めている。系統地理的考察との繋がりや地理的な分布や傾向について学習を深め、地理的な考え方や思考力を高めるよう努めた。今後、さらに回答状況をよくするよう工夫していきたい。
政治・経済	難民問題や国際貿易等、国内外の時事問題にリンクした授業を展開したため、生徒は授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。引き続き、知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	授業の難易度、進度ともに生徒の実態に合っており、生徒も概ね意欲的に取り組んでいる。予習・復習の実施が不十分な状況があるため家庭学習時間の充実を目指させたい。授業では少しレベルの高い内容を扱い、家庭学習で基礎基本を定着させることで、学習内容の定着と深い理解につなげたい。
発展数学ⅠAⅡBα(文系)	授業の難易度、進度ともに生徒の実態に合っている。授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。基礎基本を押さえ、わかりやすい説明を行っていく。
発展数学ⅠAⅡBβ(文系)	授業の難易度、進度ともに生徒の実態に即しており、授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。基礎基本を押さえ、わかりやすい説明を行っていく。
発展数学ⅠAⅡBⅢ(理系)	授業の難易度、進度ともに生徒の実態に合っており、生徒も概ね意欲的に取り組んでいる。予習・復習の実施が不十分な状況があるため家庭学習時間の充実を目指させたい。既習事項の演習であるので、授業では少しレベルの高い内容を扱い、家庭学習で基礎基本を定着させることで、学習内容の定着と深い理解につなげたい。
物理	大部分の生徒が集中して取り組んでいる。ただ、授業を「聞く」だけでは理解は深まらない。生徒が積極的に参加できる授業づくりを心がけたい。「わかりやすい＝思考が深まる」ではないので、単にわかりやすい授業ではなく生徒の思考が深まるような授業を展開したい。
化学	例年より集中して意欲的に学習に取り組んでいる生徒の割合が多い。実験などの生徒が主体的に参加し、体験する学習を取り入れた成果の現れでもあるが、授業に対する理解度等について、もう少し改善する必要性を感じる。より良い問題提起を実践し、生徒が「考える」授業展開を心がけていきたい。
実践化学基礎	例年より、内容が難しいと感じている生徒が多い。グループ学習の頻度や定期考査の出題方法についてはおおむね満足しており、授業に対する集中力も高い。改善点としては、授業者の的確な説明や、生徒の理解度を促すような授業展開を心掛けたい。
生物	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクタの活用などを通じてより関心を待たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、(あまり行っていない)現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。今後は入試に向けての実践力もつけていきたい。
実践生物基礎	全体的に、興味や意欲を持って取り組む生徒が多い。知識が身につけてきて、教科書の内容を横断するような問題に対しても深く考察できるようになってきている。今後も質の高い教材を用いて思考力を高めていきたい。
実践地学基礎	ほとんどの生徒が集中して取り組んでいる。今後も基本的な事項を理解させながら、様々な題材により視野を広げ思考を深めるような展開を心掛けたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	総じて授業満足度は高く積極的に学習に取り組んでいる姿勢がうかがえる。協調的学習としてのペアワーク、グループワークでの言語活動が効果的に機能し生徒一人一人が自律的な学習者へと着実に育っている。
英語表現Ⅱ	どのクラスでも授業満足度は高く、積極的に授業に参加している様子がうかがえる。協調的学習としてのペアワーク、グループワークを取り入れた結果、意欲も高く、「書く」活動と、「話す」活動が有機的に統合するような授業デザインが効果的に機能しているように思える。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適正である。3年生は週3回あるため、技能・体力の向上を感じている生徒が多いようである。男女共修選択制授業の充実を図り、生涯体育につながる力を身に付けさせたい。